

あもり



温故知新！ 縄文・ポシエツト

平成5年に三内丸山遺跡から出土した、約5500年前の「縄文ポシエツト」。幅7cm、高さ13cmの小さながごですが、縄文時代の遺跡から出土した編組製品のなかで、ここまで立体的な形がわかるものは全国でも例がありません。平成15年には、重要文化財に指定されました。

ヒバなどのヒノキ科の木の皮をテープ状に加工し、はじめに底の部分を四角形に編んでいることがわかります。編み方は、現代のあげびづる細工などのかごにも用いられる網代編。縄文人の卓越したデザインセンスは、多くのクリエイターたちを刺激し、最近では大手バッグメーカーが縄文ポシエツトをモチーフにしたバッグを限定販売しました。

自然と共生しながら知恵や技術を生かし、仲間と力を合わせて1万年以上も続いた縄文人の暮らしは、現代に生きる私たちに大切なメッセージを伝えてくれます。そうした価値を世界中に伝え、後世につないでいくために青森県は、北海道・岩手県・秋田県と共同で、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録をめざし取組を進めています。

▼関連記事はP6で

CONTENTS | 目次

特集 ▶ P2-5

身近にできる！健康づくり

旬を食べよう。あもり野菜で簡単ヘルシークッキング／
青森さらりイッピン 私が出会った青森のイッピン ▶ P6

平成28年 社会生活基本調査実施のお知らせ／
「白神まるごと体験博覧会」絶賛開催中！／
「野菜を食べようキャンペーン」はじまります！ ▶ P7

申吾のほっとコラム／あもりインフォメーション ▶ P8